

マーケットの動き（2023年6月12日～6月16日）

先週の為替市場は前週末比、米ドルは対円で上昇（円安）しました。

日米欧の金融政策決定会合を前に日銀は大規模金融緩和を維持するとの見方が強く、日米金利差の拡大を意識した円売り・米ドル買いが進みました。13日発表の米国コアCPI（消費者物価指数）が高止まりしているほか、14日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）で政策金利を据え置いたものの、金利水準の見通しが切り上げられたことも米ドルの買い材料となりました。

ユーロは前週末比、対円・対米ドルともに上昇しました。

投資環境見通し（2023年6月）

米ドル、ユーロともに円に対して上昇

米ドル：足元の労働需給ひっ迫やインフレ率見通しの上昇を背景としたFRB（米国連邦準備制度理事会）の年内利下げに対する否定的な姿勢が米国金利の上昇圧力とみられることに加え、世界的な景気後退懸念を受けた基軸通貨としてのドルに対する需要が見込まれることもあり、米ドルは円に対して上昇するとみています。

ユーロ：インフレ率が依然として高水準にあり、ECB（欧州中央銀行）が追加利上げを行うとの見方もあり、ユーロは円に対して金利差拡大を受けて上昇するとみています。

	6月16日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	141.50	2.12	4.99	4.83	8.93
ユーロ/円	154.59	4.66	6.26	9.51	15.45

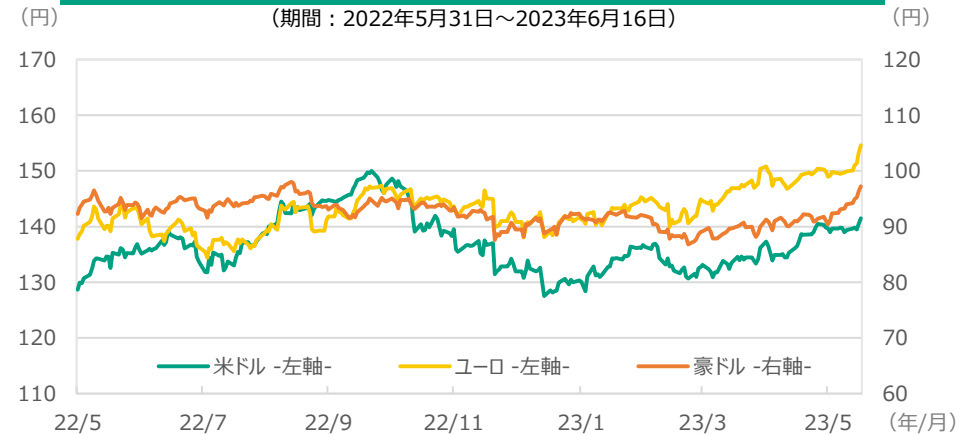
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

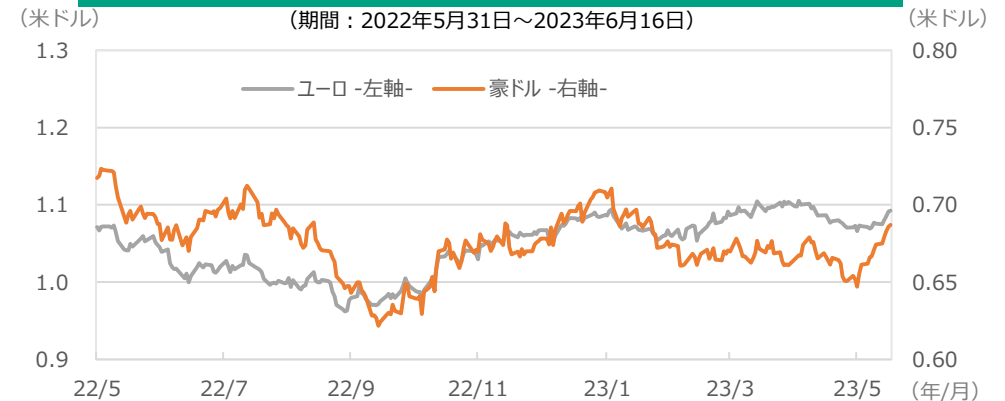
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202306_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成